

第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況を把握するため、既存の文献や資料等により地域の概況を調査した。

概況調査の範囲は、図 3-1 に示す対象事業実施区域から 2km の範囲（以下「概況調査地域」という。）とし、統計情報等の情報は、概況調査地域が存在する宇都宮市、下野市、上三川町の状況を整理した。

概況調査地域の範囲については、ごみ焼却施設において近隣住民等から影響が不安視されることが多く、かつ広域的な影響を把握する必要がある大気質（煙突排ガス）の影響範囲を考慮してのものである。

なお、同じく広域的な影響が生じるとされる景観の変化については、既存ごみ焼却施設の煙突高さが 80m であり、既に 20 年以上経過していること、現地確認の結果、2km 以遠では煙突が殆ど視認されないこと、新施設の煙突高さは 59m 又は 80m となり、現状よりも高くないこと等の理由から、対象事業に係る景観の影響は現状よりも同等以下になると判断した。よって、概況調査地域の範囲は大気質の影響範囲をもとに決定するものとした。

大気質の影響範囲の設定根拠

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成 18 年 9 月環境省）において、煙突排出ガスによる影響の調査対象地域として、最大着地濃度出現予想距離の概ね 2 倍を見込んで設定した例が示されている。

既存ごみ焼却施設の（煙突高さ 80m）の排ガスの諸元及び、平成 24 年度の宇都宮気象台の気象条件をもとに計算した結果、年平均値の最大着地濃度出現予想距離が 900m 程度（2 倍の距離で約 1.8km）となった。

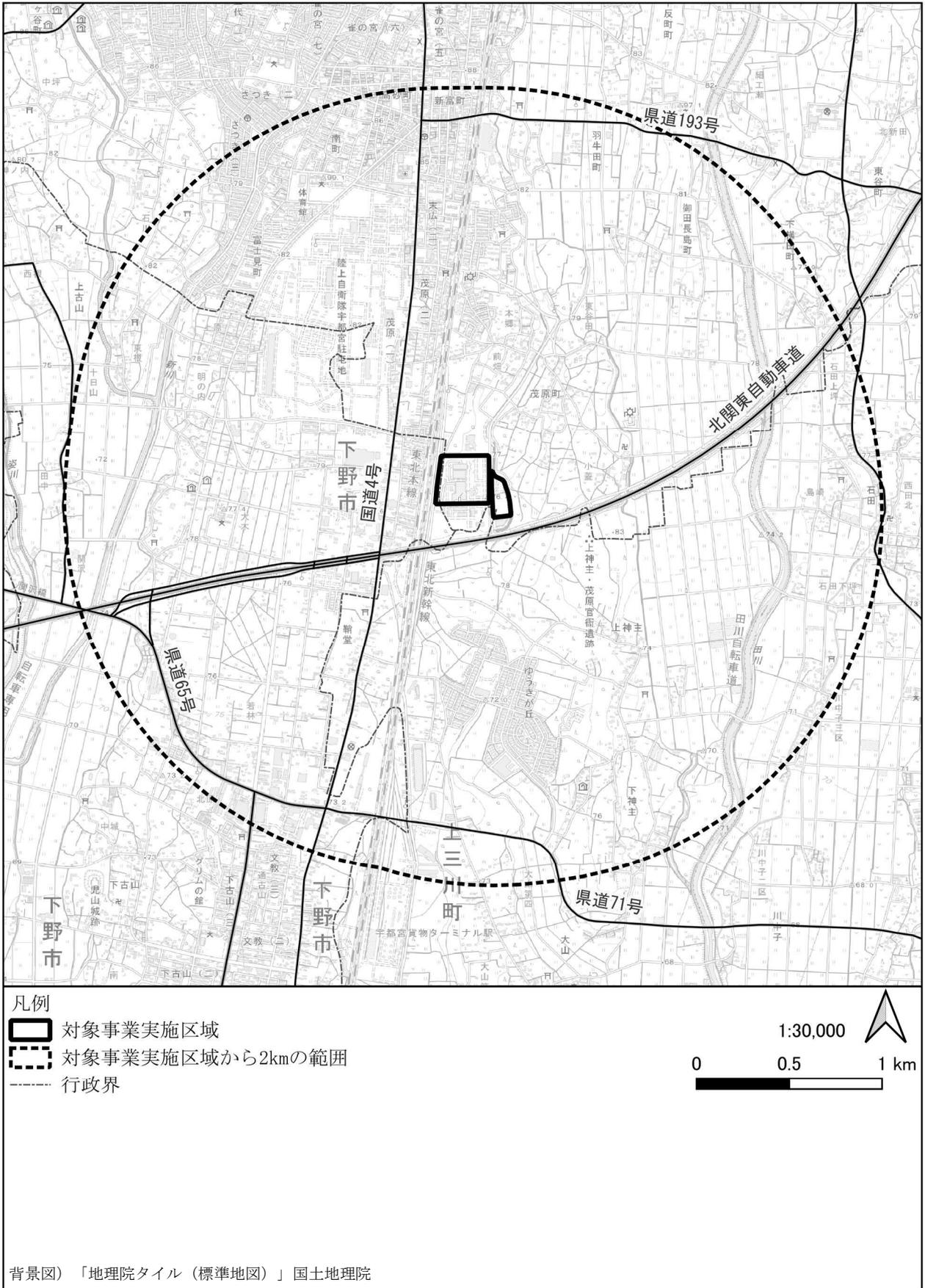


図 3-1 概況調査地域

3.1 自然的状況

3.1.1 気象，大気質，騒音，振動その他の大気に係る環境の状況

(1) 気象の状況

概況調査地域最寄りの気象観測所として宇都宮地域気象観測所が設置されており，その概要は表 3.1-1 に，位置は図 3.1-1 に示すとおりである。また，宇都宮地域気象観測所における過去 30 年間の観測結果である平年値は表 3.1-2 に，令和 6 年の観測結果は表 3.1-3 に示すとおりである。平年値については，年平均気温 14.3℃，年間降水量 1,524.7mm，年平均風速 2.9m/s で，年間の最多風向は北北東の風であった。また，令和 6 年の観測結果については，年平均気温 16.1℃，年間降水量 1,645.0mm，年平均風速 3.0m/s で，年間の最多風向は北の風であった。

なお，令和 6 年の年間を通じた風向別出現頻度は図 3.1-2 に示すとおりである。

表 3.1-1 概況調査地域最寄りの地域気象観測所

観測所名	所在地	緯度経度	海面上の 高さ	風速計 の高さ	観測項目					
					気温	風	降水量	日照	積雪	湿度
宇都宮	宇都宮市 明保野町	北緯 36° 32.9' 東経 139° 52.1'	119m	49.4m	○	○	○	○	○	○

出典：「地域気象観測所一覧（令和 7 年 8 月 7 日現在）」

（気象庁，https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf，令和 7 年 8 月閲覧）

「県内の地域気象観測所一覧」

（栃木県，https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf，令和 7 年 8 月閲覧）

注）表中の「○」は観測が行われていることを示す。

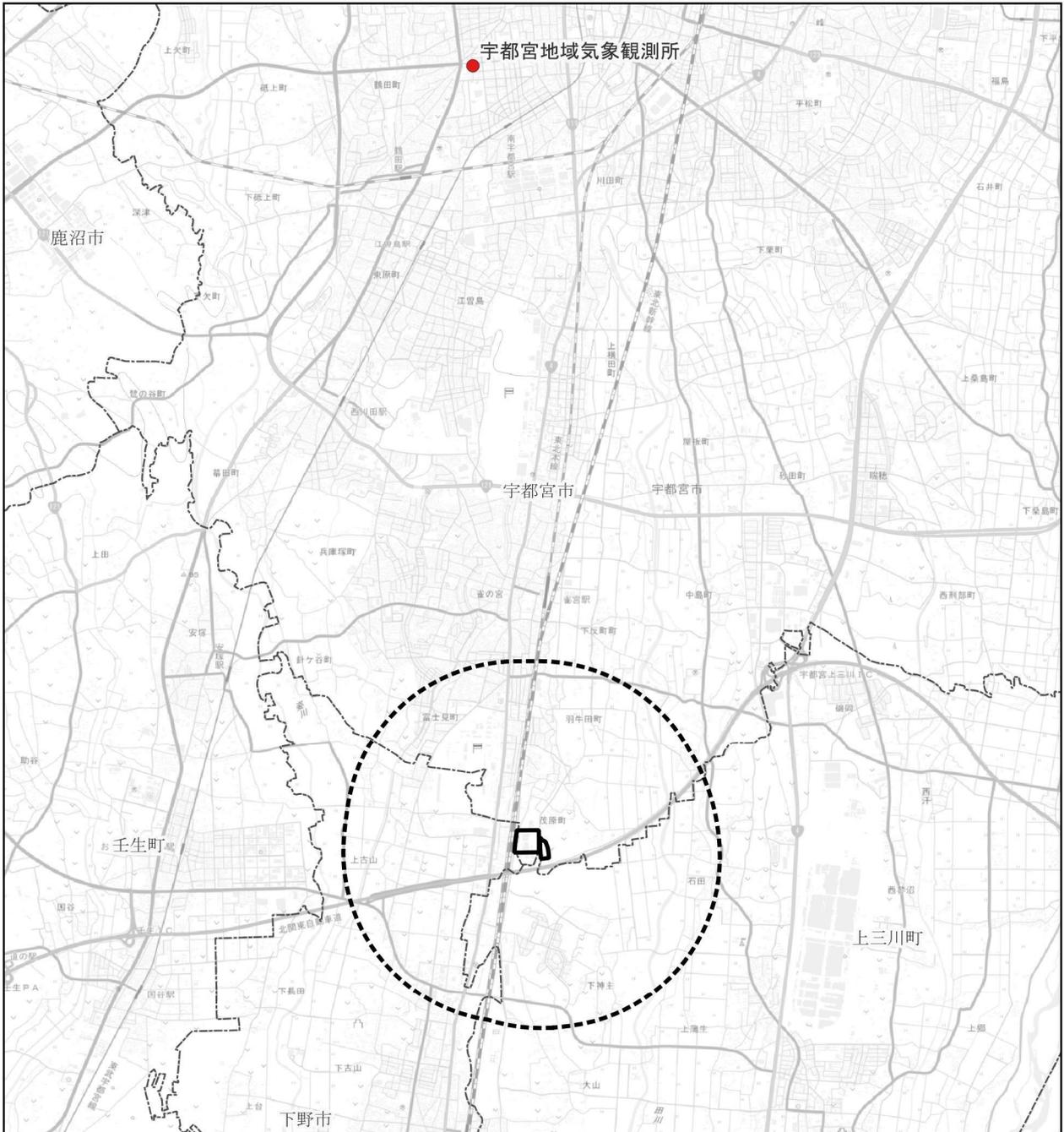
表 3.1-2 宇都宮地域気象観測所の気象概況（平年値）

項目 月	気温（℃）			降水量 合計 (mm)	平均風速 (m/s)	最多風向	日照時間 合計 (h)
	平均	最高	最低				
1月	2.8	8.6	-2.2	37.5	2.9	北北東	211.7
2月	3.8	9.7	-1.3	38.5	3.0	北北東	193.3
3月	7.4	13.4	2.1	87.7	3.3	北北東	194.2
4月	12.8	18.8	7.4	121.5	3.3	北北東	184.9
5月	17.8	23.3	13.0	149.2	3.1	北北東	175.4
6月	21.2	25.9	17.4	175.2	2.8	北北東	118.5
7月	24.8	29.5	21.4	215.4	2.7	北北東	118.9
8月	26.0	30.9	22.5	198.5	2.8	北北東	140.9
9月	22.4	27.0	18.8	217.2	3.0	北北東	119.8
10月	16.7	21.4	12.6	174.4	2.8	北北東	140.3
11月	10.6	15.9	5.7	71.1	2.6	北北東	165.9
12月	5.1	10.8	0.2	38.5	2.7	北北東	197.4
年間	14.3	19.6	9.8	1,524.7	2.9	北北東	1,961.1

出典：「過去の気象データ検索」

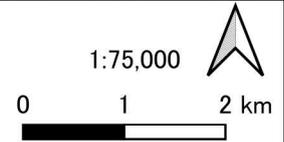
（気象庁，https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=41&block_no=47615&year=&month=&day=&view=，令和 7 年 8 月閲覧）

注）統計期間：1991 年～2020 年



凡例

- 対象事業実施区域
- 概況調査地域
- 行政界
- 宇都宮地域気象観測所



出典：「地域気象観測所一覧（令和7年8月7日現在）」
 （気象庁，https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf，令和7年8月閲覧）
 背景図：「地理院タイル（標準地図）」国土地理院

図 3.1-1 気象観測位置

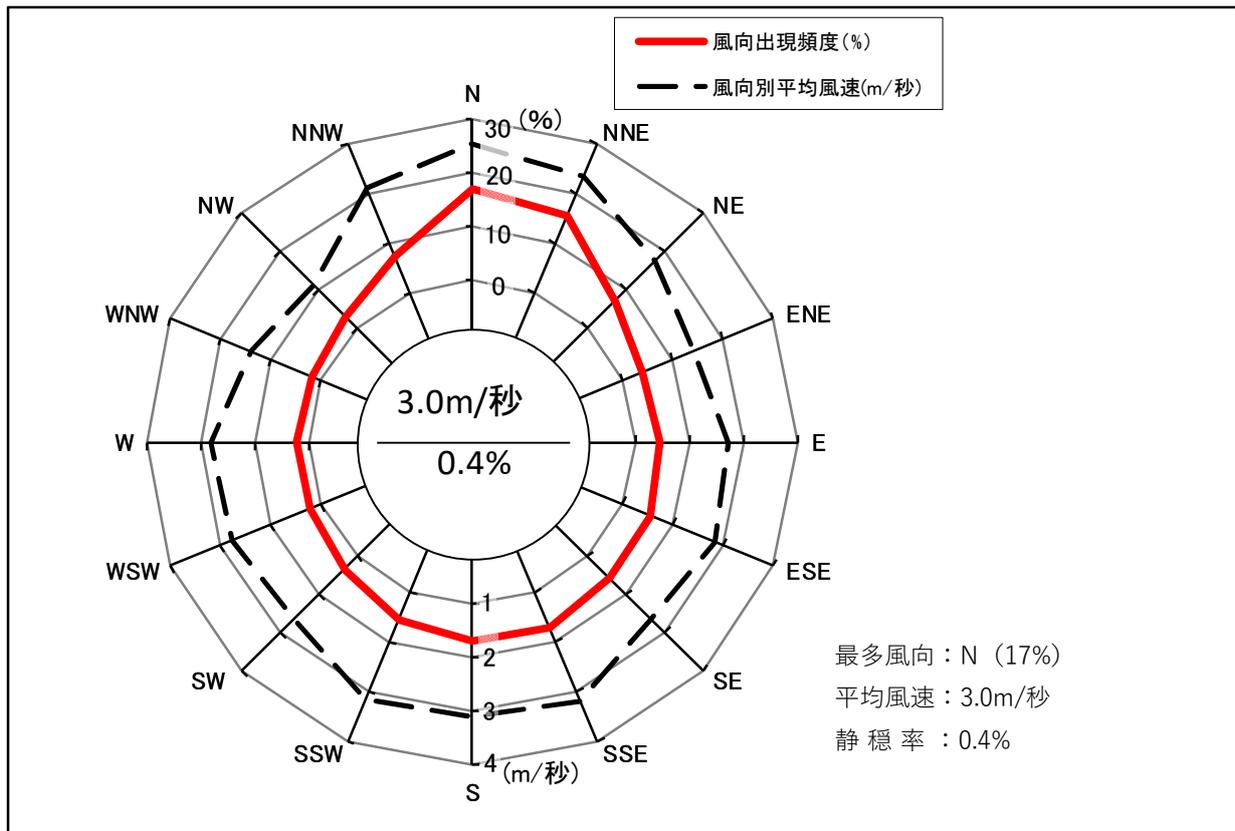
表 3.1-3 宇都宮地域気象観測所の気象概況（令和6年）

月	降水量(mm)				気温(℃)					風向・風速(m/s)					日照時間(h)	
	合計	最大			平均			最高	最低	平均風速	最多風向	最大風速		最大瞬間風速		
		日	1時間	10分間	日平均	日最高	日最低					風速	風向	風速		風向
1月	36.5	32.5	7.0	1.5	4.6	10.6	-0.8	14.7	-4.6	3.2	北	13.2	北北西	20.0	西北西	221.9
2月	48.0	12.0	3.0	1.0	5.9	11.2	0.9	21.6	-3.9	3.2	北北東	15.7	北北西	23.0	北	185.6
3月	173.0	73.5	26.0	5.0	7.6	13.8	2.1	26.2	-2.8	3.7	北	13.6	北北西	22.3	北	211.4
4月	95.5	62.0	15.5	4.0	16.2	21.6	11.5	29.2	4.0	2.9	北	15.0	北北西	22.1	北北西	169.8
5月	165.0	54.0	11.0	3.0	19.1	24.8	13.8	30.9	6.2	3.4	南	12.6	南南東	19.6	南	197.0
6月	148.5	33.5	9.5	5.5	22.6	27.8	18.6	33.3	14.1	2.8	南南東	10.4	南南西	13.7	南南西	155.3
7月	141.0	42.0	41.5	23.5	27.6	32.7	24.0	37.5	20.3	2.5	北北東	13.1	西南西	18.0	西南西	160.6
8月	466.5	106.5	98.5	30.5	28.0	33.2	24.5	37.3	21.9	3.1	南南東	13.9	北北東	17.8	西	142.5
9月	179.0	52.0	47.5	18.5	25.5	30.3	22.2	35.0	16.8	2.9	北北東	9.4	北北西	13.3	北北東	125.8
10月	115.5	29.5	8.5	2.5	19.3	23.3	15.7	31.0	7.8	3.1	北	10.9	北北西	16.6	北西	112.4
11月	76.5	40.5	7.0	3.0	12.0	17.4	7.2	24.1	0.9	2.8	北)	11.2	北北東	15.8	北北東	176.0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	11.8	-0.6	16.9	-4.4	2.7	北	12.3	西北西	18.6	西北西	240.7
年	1,645.0	106.5	98.5	30.5	16.1	21.5	11.6	37.5	-4.6	3.0	北	15.7	北北西	23.0	北	2,099.0

出典：「過去の気象データ検索」

(気象庁, https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=41&block_no=47615&year=&month=&day=&view=, 令和7年8月閲覧)

注) 表中の「) 」が付いている値は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値と同等に扱う値(準正常値)であることを示している。



出典：「過去の気象データ検索」

(気象庁, https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=41&block_no=47615&year=&month=&day=&view=, 令和7年8月閲覧)

図 3.1-2 宇都宮地域気象観測所の風向別出現頻度（令和6年）

(2) 大気質の状況

概況調査地域最寄りの大気汚染常時監視測定局として雀宮中学校一般環境大気測定局（以下、「雀宮中学校測定局」という。）、自動車排出ガス測定局として上蒲生歩道橋自動車排出ガス測定局（以下、「上蒲生歩道橋測定局」という。）が設置されており、測定項目は表 3.1-4 に、測定局の位置は図 3.1-3 に示すとおりである。

また、概況調査地域最寄りのダイオキシン類の調査地点は西小学校である。

表 3.1-4 概況調査地域最寄りの大気汚染常時監視測定局の測定項目

測定局			測定項目					
区分	市町	測定局名	二酸化硫黄	二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	一酸化炭素
一般局	宇都宮市	雀宮中学校	○	○	○	○	○	
自排局	上三川町	上蒲生歩道橋		○		○		○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注）表中の「○」は観測が行われていることを示す。

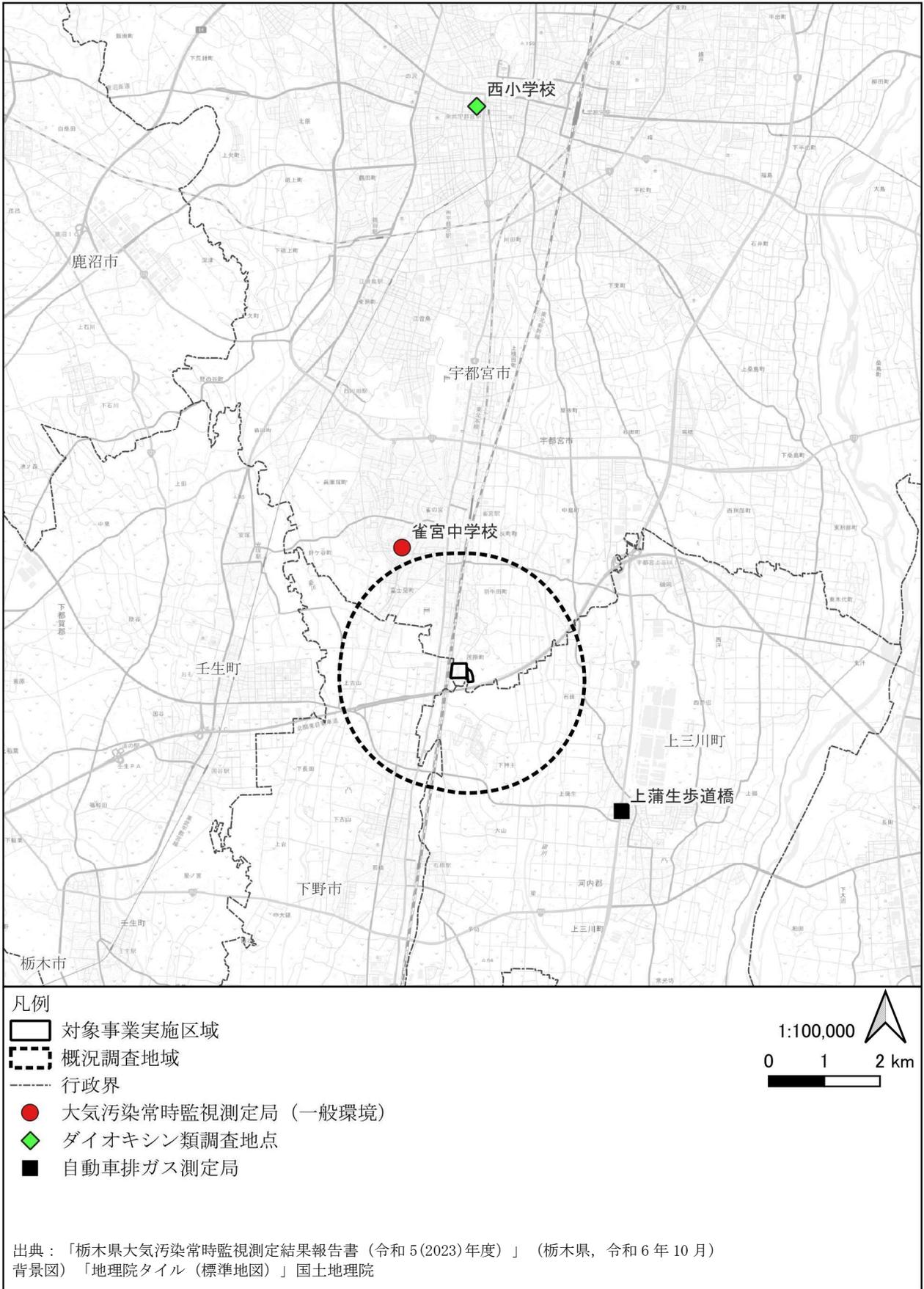


図 3.1-3 大気汚染常時監視測定局位置

1) 二酸化硫黄

雀宮中学校測定局における令和5年度の二酸化硫黄の状況は表 3.1-5 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

また、年平均値の過去5年間の推移は表 3.1-6 及び図 3.1-4 に示すとおりである。

表 3.1-5 二酸化硫黄の状況（令和5年度）

項目 測定局名	年平均値	短期的評価			長期的評価			
		1時間値が 0.1ppmを超え た時間数	日平均値が 0.04ppmを超え た日数		評価 ^{注1)}	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.04ppmを超えた 日が2日以上連続 したことの有無	評価 ^{注2)}
		時間	日	%	(○・×)	ppm	有×：無○	(○・×)
雀宮中学校	0.001	0	0	0.0	○	0.002	○	○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注1) 短期的評価は次の①及び②の両方に適合した場合が環境基準を「達成」と評価し「○」を示し，①及び②の両方，又はどちらかに適合しなかった場合は，環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

①1時間値が0.1ppm以下，②日平均値が0.04ppm以下

注2) 長期的評価は次の①及び②の両方に適合した場合が環境基準を「達成」と評価し「○」を示し，①及び②の両方，又はどちらかに適合しなかった場合は，環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

①2%除外値が0.04ppm以下，②日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。

表 3.1-6 二酸化硫黄の年平均値の経年変化

測定局名	二酸化硫黄の年平均値 (ppm)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雀宮中学校	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

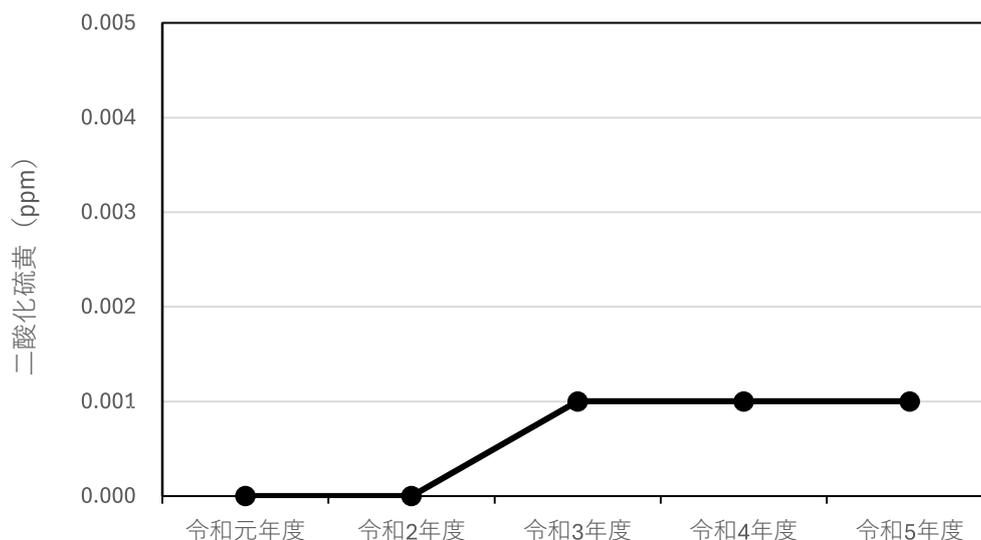


図 3.1-4 二酸化硫黄の年平均値の推移

2) 二酸化窒素

雀宮中学校測定局及び上蒲生歩道橋測定局における令和5年度の二酸化窒素の状況は表3.1-7に示すとおりであり、環境基準を達成している。

また、年平均値の過去5年間の推移は表3.1-8及び図3.1-5に示すとおりである。

表 3.1-7 二酸化窒素の状況（令和5年度）

項目 測定局名	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		長期的評価 ^{注)}		98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
				日平均値の98%値	評価	
	ppm	日	%	ppm	(○・×)	日
雀宮中学校(一般局)	0.007	0	0.0	0.016	○	0
上蒲生歩道橋(自排局)	0.012	0	0.0	0.027	○	0

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注) 日平均値の年間98%値が0.06ppm以下の場合、環境基準を「達成」と評価し「○」を示し、0.06ppm超過の場合、環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

表 3.1-8 二酸化窒素の年平均値の経年変化

測定局名	二酸化窒素の年平均値 (ppm)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雀宮中学校(一般局)	0.008	0.008	0.007	0.007	0.007
上蒲生歩道橋(自排局)	0.010	0.009	0.009	0.007	0.007

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

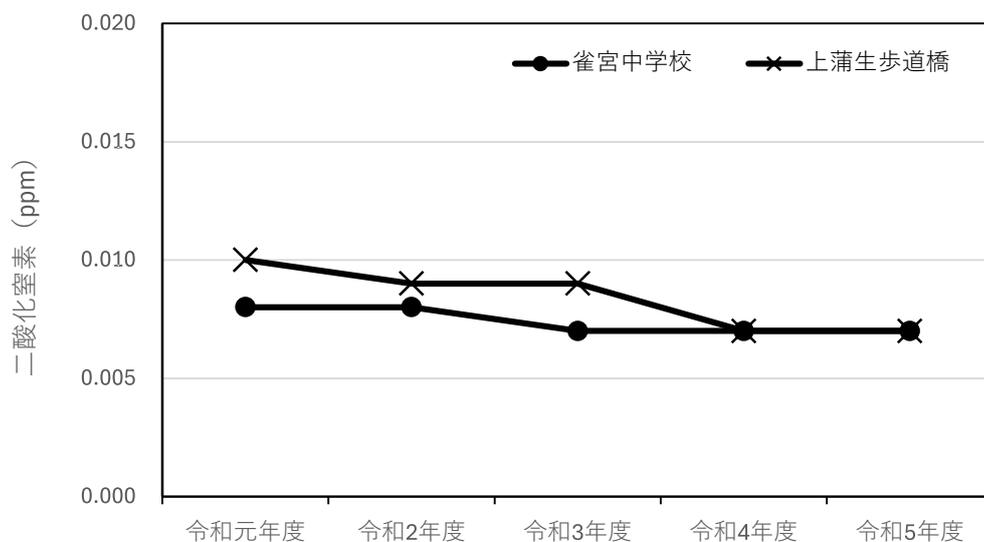


図 3.1-5 二酸化窒素の年平均値の推移

3) 光化学オキシダント

雀宮中学校測定局における令和5年度の光化学オキシダントの状況は表3.1-9に示すとおりであり、環境基準は未達成である。なお、光化学オキシダントについて環境基準の達成状況が低いことは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

また、年平均値の過去5年間の推移は表3.1-10及び図3.1-6に示すとおりである。

表 3.1-9 光化学オキシダントの状況（令和5年度）

測定局名	項目	昼間の1時間値の平均値	短期的評価				昼間の日最高1時間値の年平均値	
			昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数			評価
	ppm	時間	%	日	%	(○・×)	ppm	
雀宮中学校		0.036	508	9.3	98	26.8	×	0.053

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注1) 昼間は午前5時から午後8時までを示す。

注2) 環境基準に適合しているとは、昼間の1時間値が0.06ppm以下であることを示す。

表 3.1-10 光化学オキシダントの年平均値の経年変化

測定局名	光化学オキシダントの昼間の1時間値の年平均値（ppm）				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雀宮中学校	0.040	0.030	0.036	0.036	0.036

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

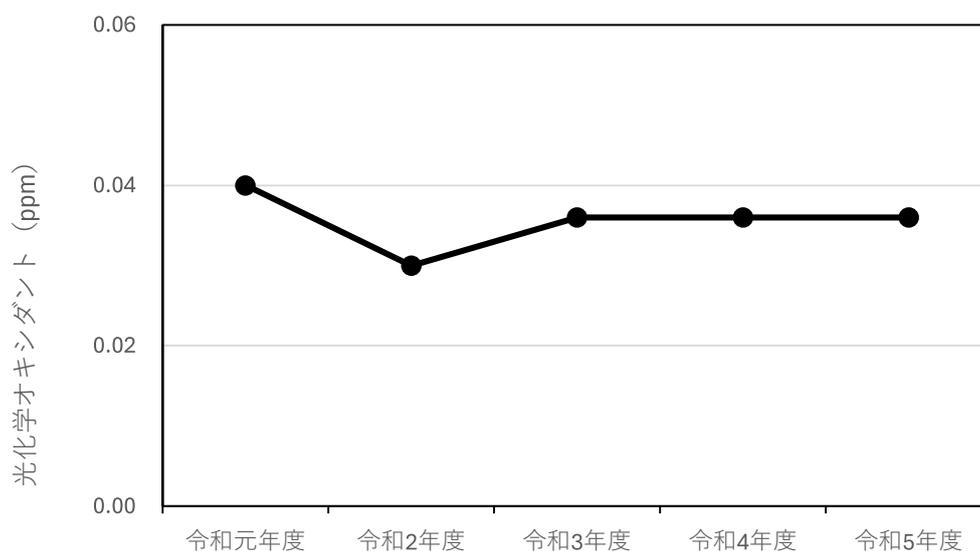


図 3.1-6 光化学オキシダントの昼間の1時間値の年平均値の推移

4) 浮遊粒子状物質

雀宮中学校測定局及び上蒲生歩道橋測定局における令和5年度の浮遊粒子状物質の状況は表 3.1-11 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

また、年平均値の過去5年間の推移は表 3.1-12 及び図 3.1-7 に示すとおりである。

表 3.1-11 浮遊粒子状物質の状況（令和5年度）

項目 測定局名	年平均値 mg/m ³	短期的評価					長期的評価		
		1時間値が 0.2mg/m ³ を超 えた時間数と その割合		日平均値が 0.1mg/m ³ を超 えた日数と割 合		評価 (○・×)	日平均値の 2%除外値 mg/m ³	日平均値が 0.1mg/m ³ を超 えた日が2日 以上連続した ことの有無 有×：無○	評価 (○・×)
		時間	%	日	%				
雀宮中学校 (一般局)	0.012	0	0.0	0	0.0	○	0.030	○	○
上蒲生歩道橋 (自排局)	0.016	0	0.0	0	0.0	○	0.036	○	○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注1) 短期的評価は次の①及び②の両方に適合した場合が環境基準を「達成」と評価し「○」を示し，①及び②の両方，又はどちらかに適合しなかった場合は，環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

①1時間値が0.2mg/m³以下，②日平均値が0.1mg/m³以下

注2) 長期的評価は次の①及び②の両方に適合した場合が環境基準を「達成」と評価し「○」を示し，①及び②の両方，又はどちらかに適合しなかった場合は，環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

①2%除外値が0.1mg/m³以下，②日平均値が0.1mg/m³を超えた日が2日以上連続しないこと。

表 3.1-12 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

測定局名	浮遊粒子状物質の年平均値 (mg/m ³)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雀宮中学校 (一般局)	0.010	0.010	0.011	0.012	0.012
上蒲生歩道橋 (自排局)	0.016	0.015	0.013	0.016	0.016

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

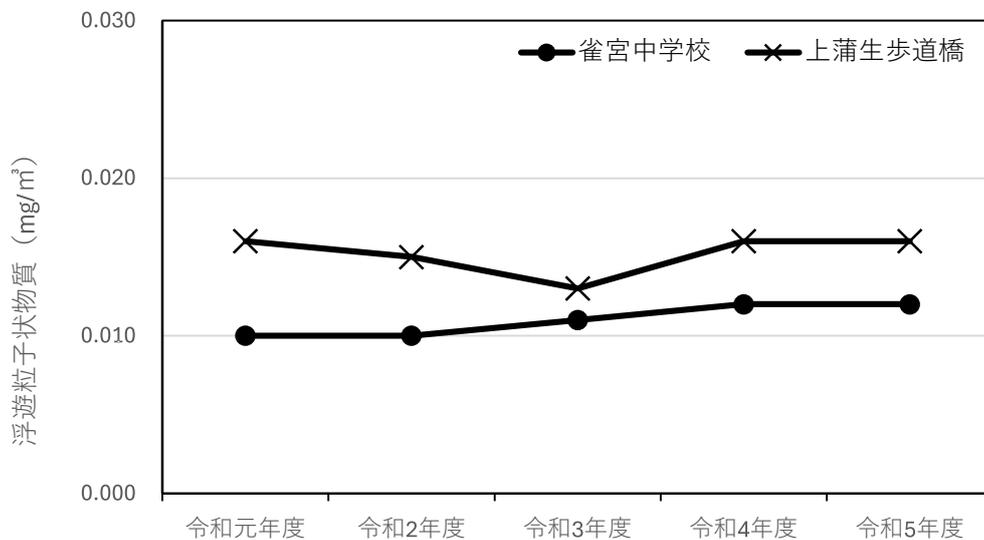


図 3.1-7 浮遊粒子状物質の年平均値の推移

5) 微小粒子状物質

雀宮中学校測定局における令和5年度の微小粒子状物質の状況は表 3.1-13 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

また年平均値の過去5年間の推移は表 3.1-14 及び図 3.1-8 に示すとおりである。

表 3.1-13 微小粒子状物質の状況（令和5年度）

項目 測定局名	年平均値	日平均値 の98%値	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日 数とその割合		長期的評価 ^{注)} (○・×)
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%	
雀宮中学校	8.8	19.1	0	0.0	○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注) 長期的評価は次の①及び②の両方に適合した場合が環境基準を「達成」と評価し「○」を示し，①及び②の両方，又はどちらかに適合しなかった場合は，環境基準を「非達成」と評価し「×」を示した。

①年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下，②日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。

表 3.1-14 微小粒子状物質の年平均値の経年変化

測定局名	微小粒子状物質の年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雀宮中学校	9.3	9.3	8.4	9.0	8.8

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

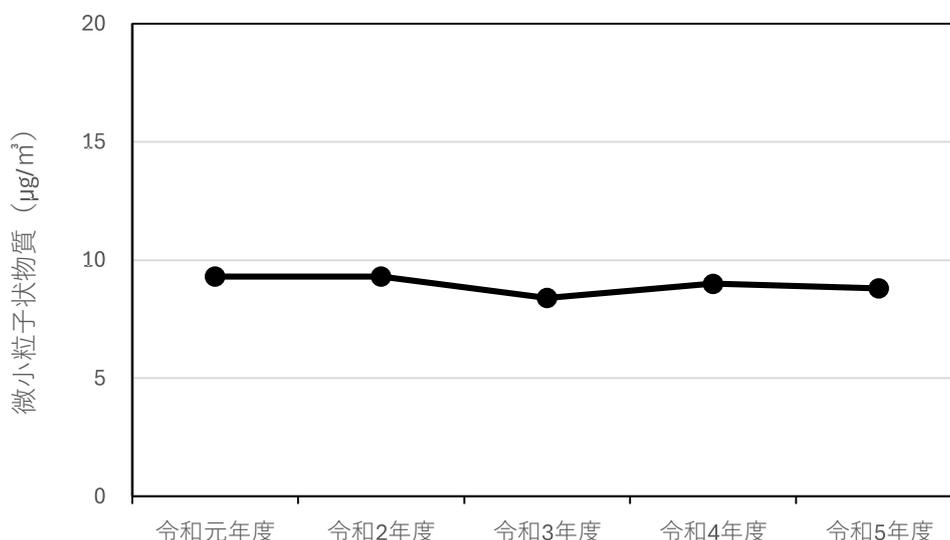


図 3.1-8 微小粒子状物質の年平均値の推移

6) 一酸化炭素

上蒲生歩道橋測定局における令和5年度の一酸化炭素の状況は表 3.1-15 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

また、年平均値の過去5年間の推移は表 3.1-16 及び図 3.1-9 に示すとおりである。

表 3.1-15 一酸化炭素の状況（令和5年度）

測定局名	年平均値	8時間値が20ppmを超えた回数と割合		日平均値が10ppmを超えた日数と割合		日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	評価
	ppm	回	%	日	%	ppm	有×：無○	(○・×)
上蒲生歩道橋	0.3	0	0.0	0	0.0	0.4	○	○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注) 短期的評価：8時間値が20ppm以下でかつ、日平均値が10ppm以下で達成とする。

長期的評価：日平均値の2%除外値が10ppm以下で、かつ、日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続していないことで達成とする。（長期的評価は年間の測定時間が6000時間以上の測定局を対象とする）

表 3.1-16 一酸化炭素の年平均値の経年変化

測定局名	一酸化炭素の年平均値 (ppm)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上蒲生歩道橋	—	—	0.3	0.3	0.3

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）

注) 令和3年度から観測開始

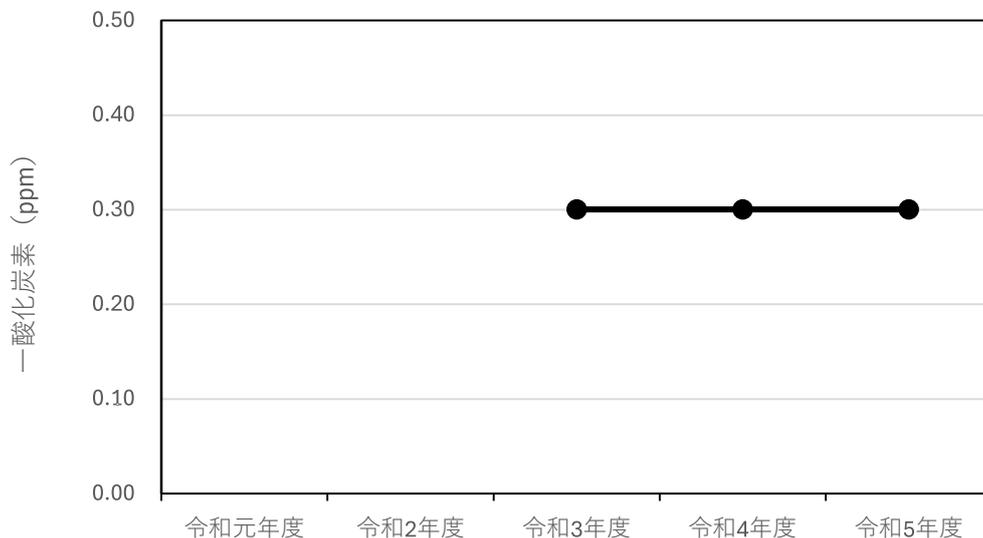


図 3.1-9 一酸化炭素の年平均値の推移

7) ダイオキシン類

西小学校における過去5年間のダイオキシン類の推移は表 3.1-17 及び図 3.1-10 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

表 3.1-17 ダイオキシン類の経年変化

項目	調査結果				年平均値	環境基準の 評価 ^{注)}
	春期	夏期	秋期	冬期		
測定年度	Pg-TEQ/m ³				Pg-TEQ/m ³	適○・否×
令和5年度	0.0100	0.0097	0.0063	0.0430	0.0170	○
令和4年度	0.0083	0.0120	0.0130	0.0130	0.0120	○
令和3年度	0.0091	0.0160	0.0062	0.0150	0.0120	○
令和2年度	0.0094	0.0100	0.0170	0.0069	0.0110	○
令和元年度	0.0200	0.0110	0.0076	0.0110	0.0120	○

出典：「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和5(2023)年度）」（栃木県，令和6年10月）
 「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和4(2022)年度）」（栃木県，令和5年8月）
 「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和3(2021)年度）」（栃木県，令和5年2月）
 「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和2(2020)年度）」（栃木県，令和3年12月）
 「栃木県大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元(2019)年度）」（栃木県，令和2年12月）

注) 環境基準の評価に適合しているとは、年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であることを示す。

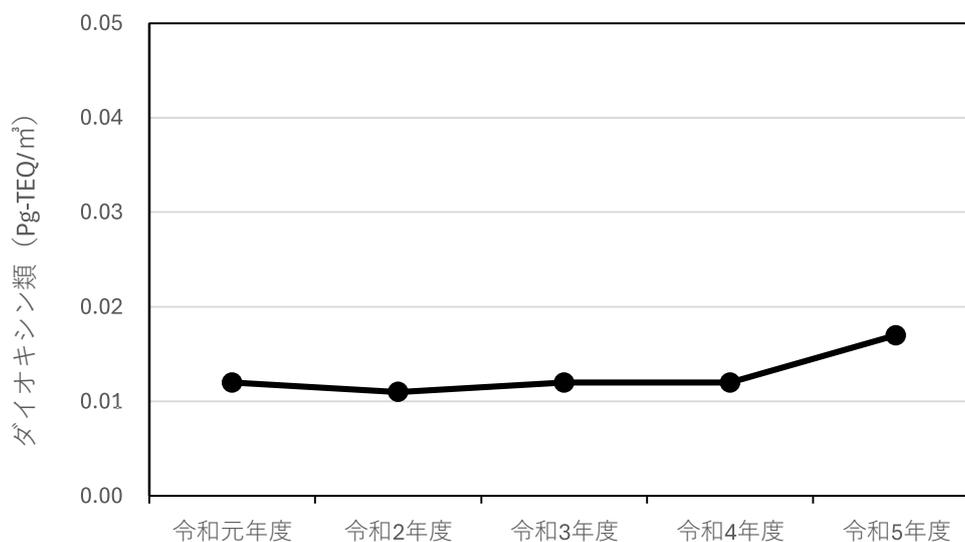


図 3.1-10 ダイオキシン類の年平均値の推移

8) 大気汚染に係る苦情の発生状況

栃木県全体における、大気汚染に係る令和2年度～令和6年度における苦情の発生状況は表3.1-18に示すとおりである。

表 3.1-18 大気汚染に係る苦情の発生状況（令和2年度～令和6年度）

地域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
栃木県	393	353	269	209	202

出典：「栃木県環境白書（令和3年度～令和7年度版）」（栃木県
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/kankyou/hozen/kankyohakusyo.html>, 令和7年10月閲覧)

(3) 騒音，振動の状況

1) 騒音，振動の状況

概況調査地域には新幹線の騒音調査地点が2地点あり，その経年変化は表 3.1-19 に，位置は図 3.1-11 に示すとおりである。令和2年度の茂原町においては環境基準を達成しているものの，その他の地点及び年度においては未達成である。

また，「環境 GIS（自動車騒音の常時監視結果 Light 版）」によると，概況調査地域における令和5年度の測定結果は，北関東自動車道（下都賀郡壬生町大字国谷～下都賀郡壬生町大字安塚）で昼夜環境基準達成率 90.9%，県道 71 号（下都賀郡壬生町あけぼの町 1～下都賀郡壬生町大字安塚）で昼夜環境基準達成率 93.8%となっている。

なお，概況調査地域では環境騒音及び環境振動の調査は実施されていない。

表 3.1-19 新幹線騒音の経年変化（令和元年度～令和5年度）

単位：(dB)

年度		地域類型	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	環境基準
調査地点	茂原町	I	—	70	—	73	—	70 以下
	新富町	I	—	72	—	74	—	
地域類型	基準値	指定区域			指定から除外する区域			
I	70(dB) 以下	軌道中心線から 300m 以内の区域	第1・2種低層住居専用地域	第1・2種中高層住居専用地域	<ul style="list-style-type: none"> 線路が掘割で，沿線の住居に及ぼす騒音レベルが環境基準以下になる区域 工業専用地域，河川の地域 用途地域の定めのない地域で，かつ住居が存在しない区間が 1,000m に及ぶ山林，原野，農業用地等 トンネルの出入口から中央部方向へ 150m 以上の区域 			
II	75(dB) 以下		準住居地域	田園住居地域				
			用途地域の定めのない地域	近隣商業地域，商業地域				
			準工業地域，工業地域					

出典：「宇都宮の環境（環境状況報告書）（令和6年度版）」（宇都宮市，令和7年3月）

2) 騒音，振動に係る苦情の発生状況

栃木県全体における，騒音，振動に係る令和2年度から令和6年度における苦情の発生状況は，表 3.1-20 に示すとおりである。

表 3.1-20 騒音，振動に係る苦情の発生状況（令和2年度～令和6年度）

地域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
栃木県	170	215	221	207	219

出典：「栃木県環境白書（令和3年度～令和7年度版）」（栃木県）

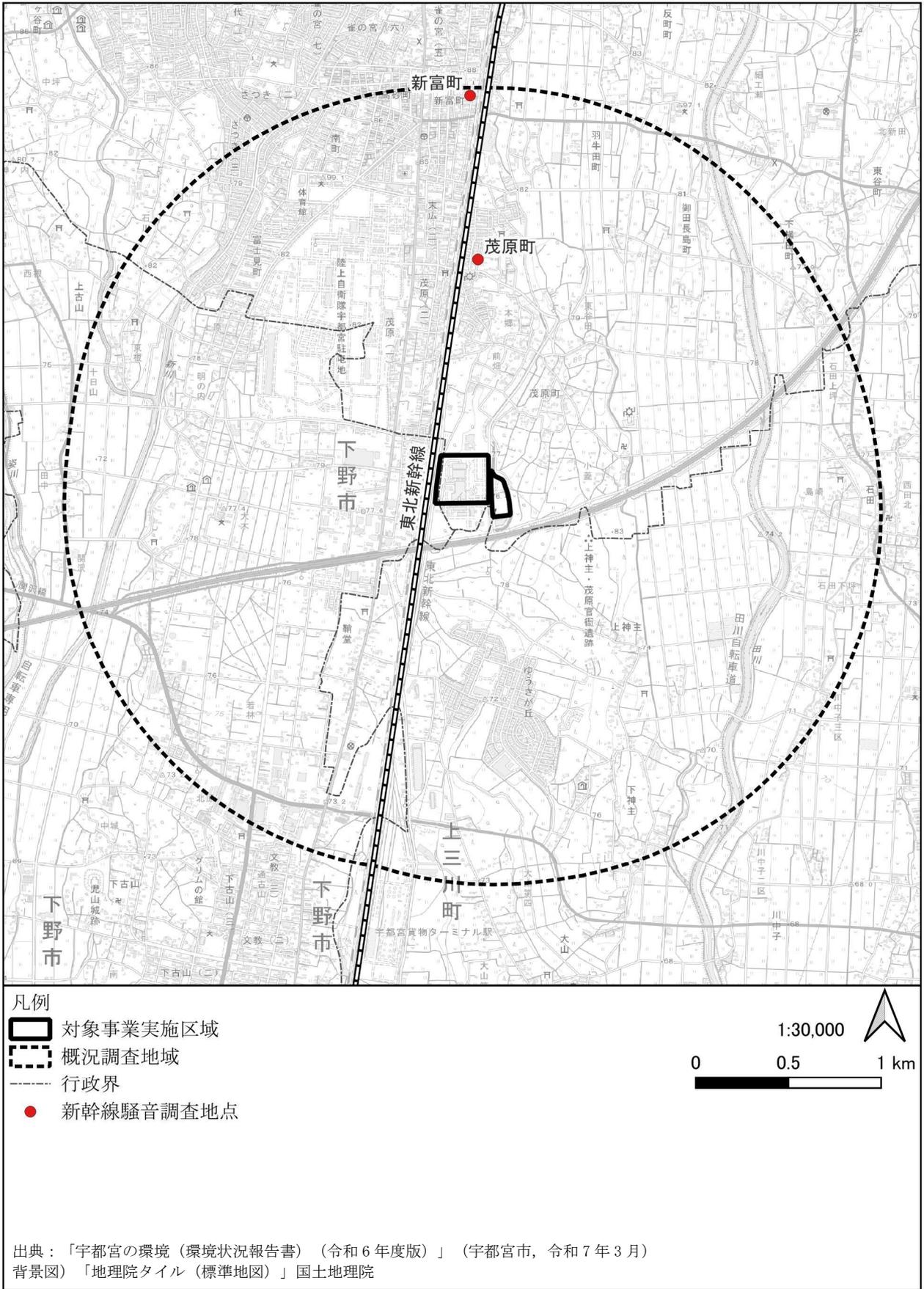


図 3.1-11 新幹線騒音調査地点位置

3.1.2 水象，水質，水底の底質その他の水に係る環境の状況

(1) 水象の状況

1) 河川

概況調査地域及び対象事業実施区域を中心とした1/30,000の図郭内（以下、「概況調査地域及びその周辺」という）を流れる主要な河川の状況は表 3.1-21 に、位置は図 3.1-12 に示すとおりであり、対象事業実施区域の東側を一級河川の田川が、西側を一級河川である姿川の支川の新川が北から南方向に流れている。

表 3.1-21 対象事業実施区域周辺の主要河川の状況

区分	水系名	河川名	延長 (km) ^{注)}	区域 ^{注)}	
				上流端	下流端
一級河川	利根川水系	田川	77.85	日光市野口	鬼怒川
準用河川	利根川水系	新川	3.2	宇都宮市富士見町	姿川

出典：「田川圏域河川整備計画（第4回変更）」（栃木県，令和3年4月）

「思川圏域河川整備計画（第4回変更）」（栃木県，令和4年5月）

注）栃木県河川課の河川整備計画における計画対象区間を示す。

2) 湖沼

概況調査地域に湖沼は存在しない。なお、既存ごみ焼却施設内には雨水排水用の調整池が存在する。

3) 地下水

概況調査地域の地下水マップは図 3.1-13 に示すとおりであり、地下水は北から南方向に流れている。

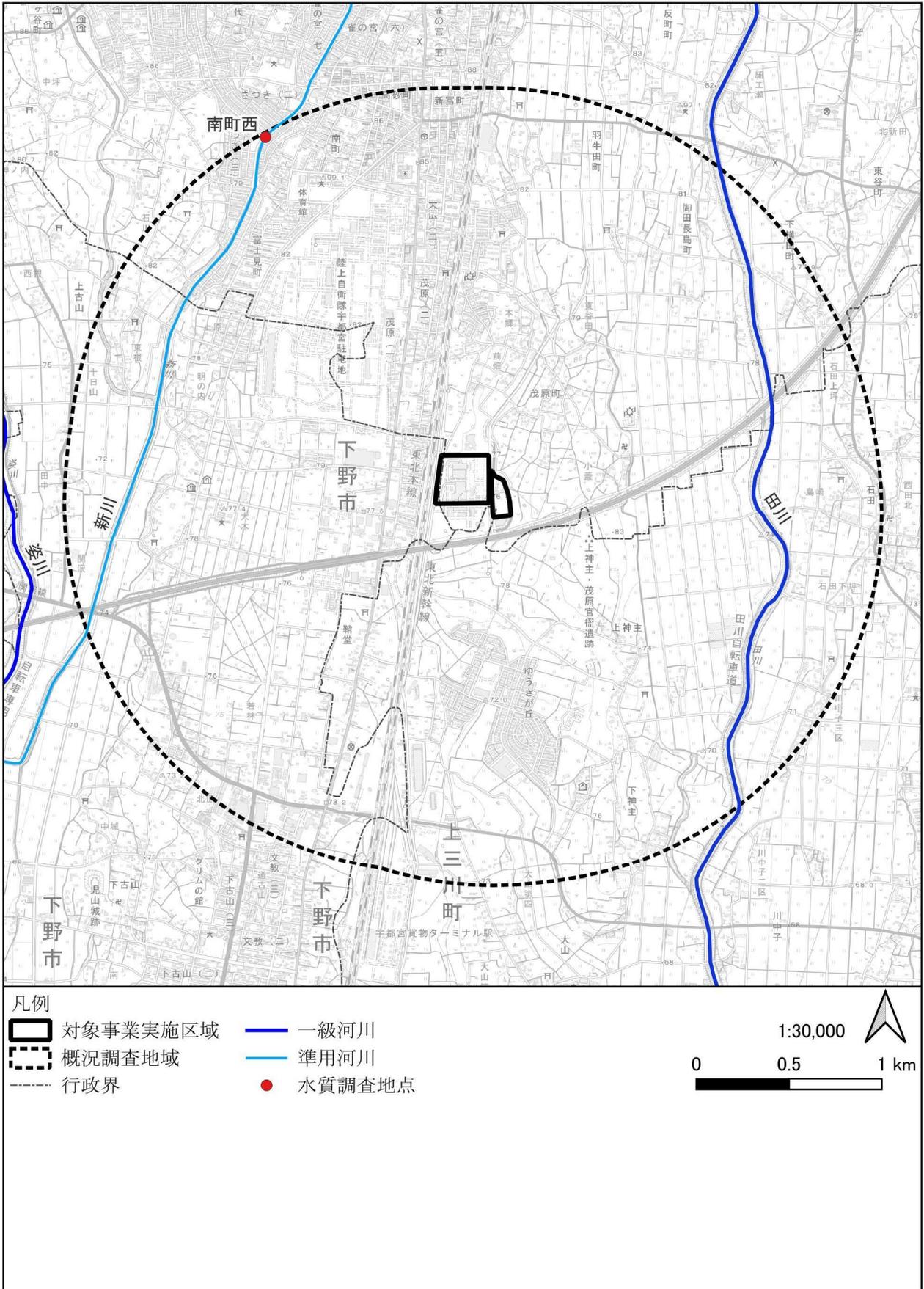


図 3.1-12 河川の分布及び水質調査地点

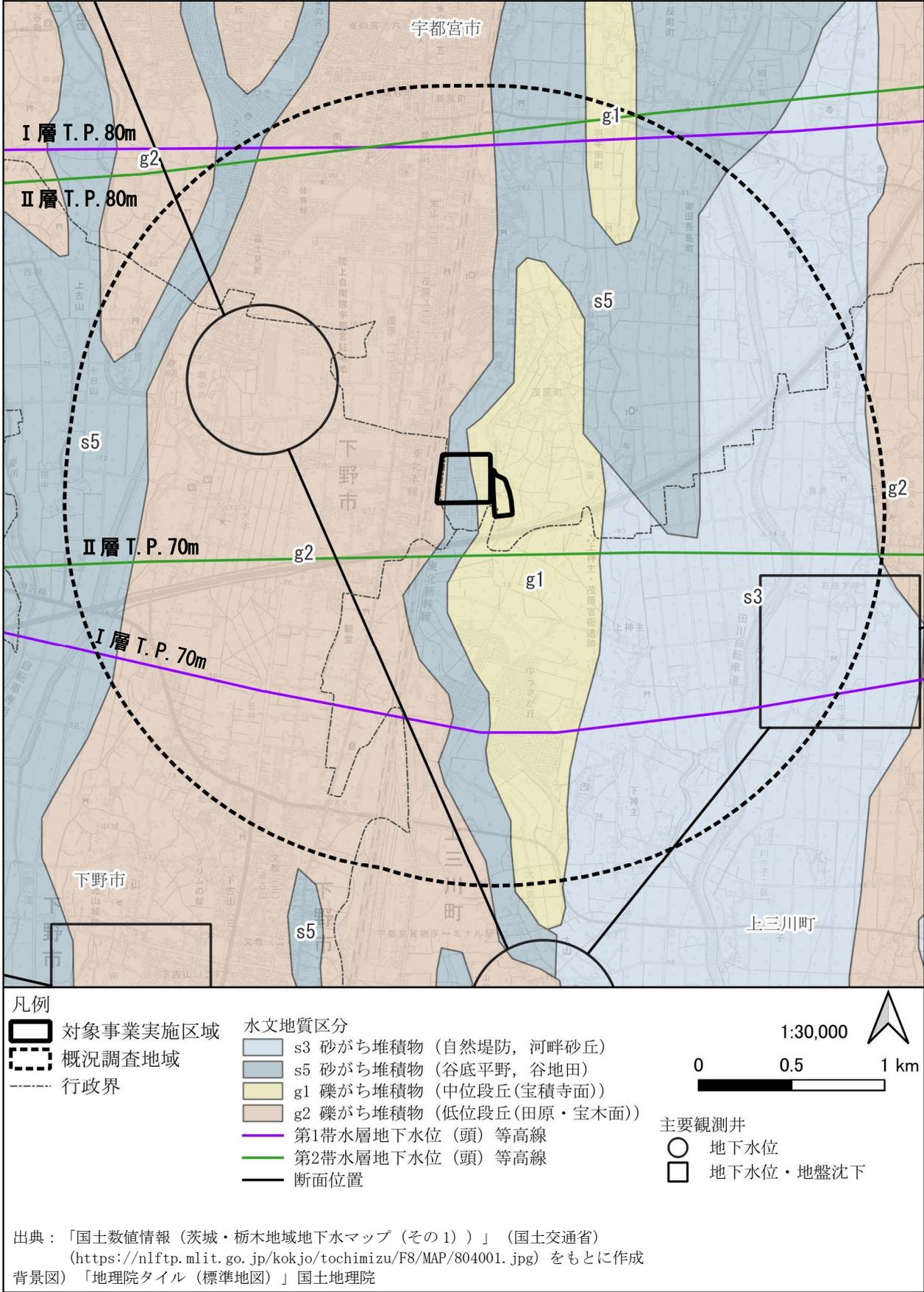


図 3.1-13 地下水マップ